

地産地消・村内循環型社会で

12億円の経済を回し、150人の雇用を生む

―挑戦と自立の村・群馬県上野村を視察して―

常山議員の呼びかけで、上野村の視察に10人で出かけました。皆野町から車で1時間ほど、森林が村の96%を占め、人口1315人、

村の職員38人という山深い村です。村の状況・特色を分析し、何に挑戦するか、その為に何が必要か、無駄なく利用しきる、一貫性を持って行動し、積み上げられた確かさを感じました。

林業を見てみる

放置されていた間伐材の利用、製材後の端材も集め砕き固め燃料にし、ホテルや公共施設のボイラーや家庭や農業ハウスのストーブに。

さらに、固めた木くずでバイオマス発電し、きのこセンターに電気を送り、発電時の熱を冷暖房に利用。

使い終わった菌床は燃やし床暖房に再利用。菌床の入っていた袋も再利用する技術の取り入れも決定。木

炭センター・製材所や木工品材料工業など、バイオマスエネルギーで12億円の経済を回し、150人の雇用を生んでいます。

この他、生ごみのたい肥センター、し尿を液肥化し生産現場に戻しています。

再生可能エネルギーによる地産地消は灯油や重油の購入代が林家の収入に回るなど、徹底して利用し、循環型社会をつくっています。

過疎からの脱却のため若者の定住対策も充実しています。給食費の無料、こども医療費は18歳まで無料、村が運営するケーブルテレビでインターネットも月500円で利用できますし、健康水準の高い村づくりを掲げ健診も無料になっています。

村への移住者は238人、人口の18%にも達しています。

参加者が、「徹底している、本気度がちがう」とうなるほど、安心して住み続けられるよう挑戦と自立を目指す村です。

皆野町では、地滑り土石流など土

砂災害の危険が心配されています。

防災のためにも、山の間伐をし、

手を入れることは待たれています。

温水プールなど公共施設の光熱費

に充当できます。鳥獣対策にもなります。

元気をもらった視察になりました。

この事例はホンの一部です。

むし歯の子どもは、歯科医院に来るまでにすでに総入れ歯にしないという事はない状況。総入れ歯にするという事は、そこに至るまでにはどれだけ夜痛に耐えながら寝られず、学校に行って勉強している時、しゅしゅと痛い中で黙って座っていたのか、冷たい物を飲んだら痛くなってくる。そういうことを、何日も何カ月も何年も繰り返しながら総入れ歯になってしまったのです。〈ウツ面に続く〉

『子どもの貧困』

共産党議員研修会での講演

浅井 春男氏（立教大学教授）

〈家族と子どもの貧困〉

今、どんな出来事が身近に起こっているのでしょうか？

*夏休みで10キロもやせてきた中学

生*むし歯20本で治療ゆされていない

い子ども*給食時間に教室を出てい

く子ども*子ども虐待と虐待死の増

加*修学旅行の積立金を崩して生活

費に*卒業アルバム代を払えず、持た

ずに卒業。……

この事例はホンの一部です。

むし歯の子どもは、歯科医院に来るま

までにすでに総入れ歯にしないという事

はない状況。総入れ歯にするという事は、そこに至るまでにはどれだけ夜痛

に耐えながら寝られず、学校に行って

勉強している時、しゅしゅと痛い中で

黙って座っていたのか、冷たい物を飲

んだら痛くなってくる。そういうこと

を、何日も何カ月も何年も繰り返しま

がら総入れ歯になってしまったので

す。〈ウツ面に続く〉



きのこセンター内にあるバイオマス発電で電気・熱を供給しています